

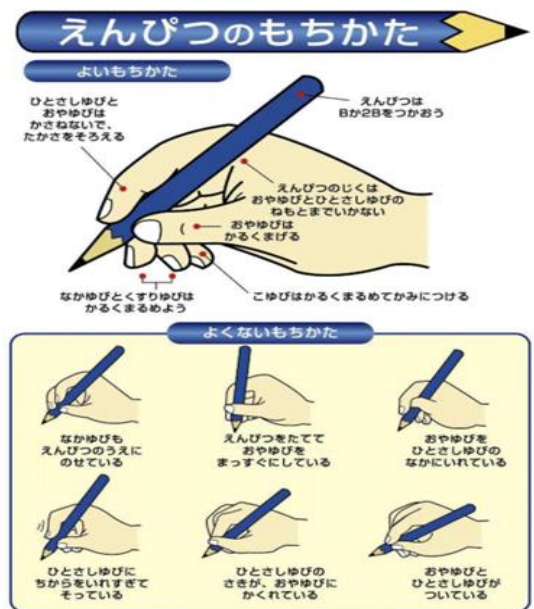
えんぴつの持ち方

2022.11.01

以前からお伝えしている「えんぴつの持ち方」について、今回はメリットをお伝えします。

<正しく持つ メリット >

- 文字を書くのに疲れない、力まず持てて素早く書くことができる。
- 鉛筆の稼働域が広がり、「とめ」、「はね」「はらい」がきれいにできる。
- 手のひらを下にむけることで脇が締まり、姿勢が崩れないから集中時間が続く。
- 文字を正しくきれいに書くことができるだけでなく、絵もかきやすくなる。
- 文字のきれいさが誤字、脱字、見にくさをなくす。
- 指先を使うので、手先が器用になる。



正しく持てないことは、上記のことが出来づらくなります。

今は出来なくてもいい、と思うかもしれませんが、将来的にいくらPCの時代になったとしても文字を書かないことはないと思いますし、その時に書く文字が自分を見せることになるとしたら？ 「字は体を表す」と言います。

いま、それぞれのクラスに入って子ども達のえんぴつの持ち方を見てると、筆持ち（私が名付けました）4本指で持つ子が多いです。

実際、トンボ鉛筆が調査したところ、未就学児の親の9割が「えんぴつの持ち方は大事だ」と考えているのに、正しく持てている子どもは、たったの1割だそうです。また、親の世代でも正しく持てる人は3割に満たないそうです。

上記のように正しく持つことは、良いことだらけなので、是非ご家庭で確認してみられると良いのではないのでしょうか。

ちなみに、えんぴつの持ち方とお箸の持ち方は「同じ」です。

（こどもまなび☆ラボ）より抜粋